

令和5年12月4日

保護者の皆さんへ

しらぎく幼稚園
園長 東海林 肇

園長だより「かけはし」

今年も気がつけばいつの間にか12月を迎えました。12月5日6日には、おゆうぎ会が行われます。それぞれのクラスで精一杯のパフォーマンスを披露してくれるはずですが、どんな発表会になるか、楽しみにしてください。さて、師走の声を聞くと、何となくせわしい気分になりますが、こんな時こそゆったりとした気持ちで過ごしたいものです。ただ今年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症は、季節性インフルエンザと同等の扱いとなり、5類感染症に移行され、日常が戻ってきたように感じました。それでも、11月には学級閉鎖などもあり、これからの季節はさらに感染に気を付けていく毎日でもあるのでなかなかゆったりすることは難しいのかなとも思います。それでも子どもたちにはこのまま元気に12月を過ごしてもらいたいと思います。



「年越しそば」

年越しそばは、江戸時代に日本に定着した文化と言われています。新年を目前にした大晦日だからこそ、縁起を担いで年越しそばを食べるととてもすてきな日本の文化だと思います。現在でも、大晦日には日本人の約60%の人が年越しそばを食べているとのこと。それだけ、日本人に定着した風習といえますね。そして、年越しそばには次のような意味合いもあるとのこと。

- 長生きできるように・・・そばのように、細く長く過ごせることを願って食べられます。
- 今年の不運を切り捨て、来年を幸運で迎えられるように・・・そばは切れやすいため、今年の苦労や不運をきれいに切り捨てて、新しい年を迎えるためと言われています。
- 金運が上がりますように・・・昔の金銀細工師や金を扱う職人が散らかった金粉を集めるために、蕎麦粉を使っていたと言われています。そのため、そばは金を集める縁起物として広まったことから、金運が上がるとされました。
- 来年も無病息災でありますように・・・そばは風雨にさらされても、日光を浴びると再び元気になります。そのためそばのように、何度も元気に蘇るよという願いが込められています。

自分自身は今年の嫌なことや、不運を断ち切って新年に向けて願掛けをしながら今年も「年越しそば」を食べるつもりでいます。保護者の皆様もそれぞれの流儀で今年の年末を過ごし、新しく迎える年が明るい年となりますよう心から祈念いたします。